

「にほんの里100選 記念シンポジウム」

日本の四季が織りなす自然とともに、人々が育んできたすばらしい日本の原風景が残る能勢町。

ここには、日本に誇る長谷の棚田とともにさまざまな文化と伝統、そして自然を敬い、自然と共に暮らす知恵があります。

今回、朝日新聞創刊130周年記念事業の一環で行われた「にほんの里100選」に選ばれたことを記念して、シンポジウムの開催とあわせて、フィールドワークも行います。また、伝統的な人形浄瑠璃の上演などもあり、早春の能勢を満喫してください。

「美しい森林づくりシンポジウム ～多くの生きものを育む能勢の自然～」

日時 3月22日(日) 午後1時～4時

場所 浄るりシアター

定員 500名

- 内容 13:00 開会あいさつ
能勢町長 中 和博
- 13:10 講演「生物多様性からみた里山保全について」
大阪府立大学副学長 石井 実 教授
- 13:50 講演「能勢町(猪名川流域)の本物の里山について」
兵庫県立大学 服部 保 教授
- 14:30 休憩
- 14:40 パネルディスカッション
コーディネーター：服部 保 教授
パネリスト : 能勢里山クラブ
城好会
能勢のギフチョウを守る会
日本森林ボランティア協会
(石井 実 教授)
- 15:45 総評
石井 実 教授
- 16:00 閉会



「能勢フィールドワーク」

・長谷の棚田と三草山

日時 3月20日(金・祝) 午前10時30分～午後3時

集合 長谷地区区民会館前に10時30分

能勢電鉄「山下駅」に9時45分

定員 50名

内容 棚田の観察、歴史講話、三草山ハイキング

(バス大阪市内発着利用の場合)

午前9時に大阪府立体育会館前を出発(8時30分より受付開始)

・吉野のギフチョウ保全

日時 3月21日(土) 午前10時30分～午後3時

集合 吉野区「奥田橋」付近に10時30分

もしくは能勢電鉄「妙見口」駅に午前10時

定員 50名

内容 ギフチョウの保全活動の体験

・地黄湿地

日時 3月22日(日) 午前10時30分～正午

集合 能勢電鉄「山下」駅に午前9時30分

定員 20名

内容 地黄湿地の観察

「人形浄瑠璃」

日時 3月22日(日) 午前11時～11時30分

集合 浄るりシアター(10時30分より受付開始)

もしくは、能勢電鉄「山下」駅に午前10時

定員 500名

内容 人形浄瑠璃の上演他

(バス大阪市内発着利用の場合)

午前9時に大阪府立体育会館前を出発(8時30分より受付開始)

3月20日のフィールドワーク、3月22日の人形浄瑠璃およびシンポジウムについては、大阪市内からのバスの発着も行います。

各日ともに、昼食は各自持参することとします。

参加者には能勢町に息づく動植物をモチーフにした「エコ・ポーチ」と「クリアファイル」をプレゼントします。

問合せ

(財)大阪みどりのトラスト協会

TEL : 06-6949-5705

FAX : 06-6949-5707

E-mail : midori@ogtrust.jp

